生産性向上支援訓練をご利用いただいた事業主様の声

株式会社ビーツ　様

ビーツは、スペースデザインと店舗デジタルソリューションを最適化するマーケティング企業です。
クリエイティビティにデータやテクノロジーを組み合わせることで、リテールという最強の顧客接点で体験できるブランドエクスペリエンスを大きく進化させ、生活者のリアルな感動・喜び・信頼を生み出す心地よい「共感」を創っています。

企業概要

所 在 地　　東京都港区
従業員数　　135人（令和８年４月）
事業内容　　総合広告代理店業務

■支援の概要

課題と要望



プロフェッショナル意識の高い社員が多い一方で、経験や知見を次世代に継承し、組織として計画的に人材を育成していくことが課題となっていた。
また、各階層に求められる役割や能力を明確にした新人事制度をスタートしたことで、実効性のある階層別研修の整備に加え、社員一人ひとりの成長を支援するとともに、組織全体で人材を育成する仕組みづくりを検討していた。

提案内容

相談の中で、人材育成の主体となるマネジメント層の役割が重要と考え、同階層を中心に研修を行うこととした。
相談支援により、課題や新人事制度の趣旨を踏まえたカリキュラムにカスタマイズすることで、実務に結びつけやすい内容（ケーススタディ・ロールプレイ等）を設定した。

受講いただいた訓練

「043組織力強化のための管理」、「060企画力向上のための論理的思考法」
「037企業価値を上げるための財務管理」

■利用者の声

事業主の声

研修後は、マネジメント層において、部下の育成やマネジメントを自身の重要な役割として捉える意識が高まった。特に、1on1や評価面談、日常の業務指導において、部下一人ひとりの成長課題を意識した対話やフィードバックを行う姿勢が見られるようになっている。
今後は一般社員層まで対象を拡大し、各階層に求められる役割の理解や能力向上を促す研修を実施し、定着と組織力の強化を図りたい。



受講者の声

・自分の立場において求められること、実現すべきこと（状態）について講義を通して論理的に整理できた。受講前と比較して、役割意識やそれを実現する手法がより明確化されたと感じる。
・組織における役割を言語化することで、具体的な行動に置き換えることができ、自身の得手不得手を客観視できた。
・ロールプレイの実施、特に1on1ミーティングを見据えた実践形式は、実際の場面に効果的だと思うので活用していきたい。

■訓練を利用した成果

人材育成のための研修体制の整備・強化に生産性向上支援訓練を活用することができ、受講者も実務において訓練内容を生かすことができている。ポリテクセンター大阪とも連携を取っていただいたことで、大阪本社と２拠点にて効果的な研修を行うことができた。
今後も人材育成に向けた相談・援助を引き続きお願いしたい。